

## 冬から春に咲くヤブツバキ 秦野ビジターセンター

冷たい空気に包まれた中、葉を茂らせて一輪、また一輪と花を咲かせるヤブツバキ。

冬の山麓に色を添えるヤブツバキは照葉樹林の代表的な常緑樹です。本州から九州・沖縄に分布し、樹高は5～6m。葉は厚く光沢をおび縁には細かいギザギザがあります。花期は11月から4月頃。ツバキは漢字で書くと「椿」。木に春と書くように、春が近づくころに花は最盛期を迎えます。花の色は淡い色から濃い色まであり、黄色い花粉を付けた沢山の雄しべが目を引きまします。しかし寒い時期は花粉を運ぶ昆虫が少ないです。でも大丈夫。その雄しべは下部でつながり、筒状になった底には蜜がたっぷりあります。蜜が大好きな鳥、メジロやヒヨドリがやってきて花粉を運ん

でくれます。

野生種のヤブツバキからは多くの園芸種が作られました。茶花として親しまれ、庭木や公園などに植えられ身近に接することが出来ます。なじみの深い椿。山麓で咲く姿を探しに出かけてみませんか。（執筆：石川）



ヤブツバキの花



ヤブツバキとメジロ

### 【イベント案内】

#### 生命の星・地球博物館巡回特別展

##### 「植物誌をつくろう！」

～『神奈川県植物誌2018』ができるまでとこれから～

内 容：県内の植物相についてまとめた本「神奈川県植物誌 2018」。調査で分かった県内の植物の状況や未来への展望、自然環境保全センターの事業との関わり等についてご紹介します。

主 催：神奈川県自然環境保全センター

開催期間：2019年12月7日（土）～2020年2月16日（日）

展示場所：秦野ビジターセンター展示室

#### 丹沢のビジターセンター巡回企画展

##### 「丹沢山麓イキモノ撮影記 ～センサーカメラを仕掛けたら～」

内 容：丹沢のビジターセンターで開催していたセンサーカメラで撮影された生きものたちの展示が横浜市立野毛山動物園へ！！

開催期間：2020年1月11日（土）～2月24日（月祝）

展示場所：横浜市立野毛山動物園「市電」内

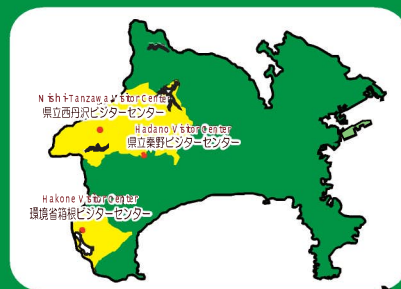
開園時間：9時30分～16時30分（入園は16時まで） ※入園無料

期間中は毎週月曜日休園（祝日にあたる場合は翌日）

#### 【問い合わせ】

県立秦野ビジターセンター TEL:0463-87-9300

### 自然公園へでかけよう



#### 環境省箱根ビジターセンター

Hakone Visitor Center

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164

Tel 0460-84-9981

<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

#### 県立秦野ビジターセンター

Hadano Visitor Center

〒259-1304 秦野市堀山下 1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

#### 県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)

Nishi-Tanzawa Visitor Center

〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9

Tel 0465-78-3940

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまでお問合せください。



## 自然の危うさと素晴らしさ

大型の台風19号は箱根町に1000ミリを超える雨を降らせました。台風通過後、箱根町内では、国道やハイキングコースに被害があり、通行止めが各所で見られました。箱根に来られる前には最新の情報を入手されることをお勧めします。お問い合わせは箱根ビジターセンターでも受け付けております。道路等の管理者である箱根町や神奈川県と連携し、最新情報をお届けしています。

台風の被害以来、私たちが心掛けていることがあります。お問い合わせの中でよく「登山道は大丈夫ですか」という事を聞かれます。しかし、何時、何処で自然災害が起きるか分からない中で、無責任に「大丈夫です」と答えることはできません。ビジターセンターとして、そのようなお問い合わせには必ず「大丈夫かどうかは分かりませんが…」とお話しするようにしています。

## 氷の華シモバシラの霜柱

山地や山麓などで木の根元などに自生するシソ科の多年草『シモバシラ』は、冬に素敵な姿を見せる植物です。

寒い冬の日、地表温度が0℃以下になると根から吸い上げた水分が枯れた茎の中で凍って膨張し、茎をやぶって“氷の華”を咲かせ、まるで地表の「霜柱」のように見えることから『シモバシラ』の名が付けられました。日があたらず寒ければ、一日中見ることでもでき、気温が上がると溶けて無くなりますが、翌日、気温が下がるとまた違う姿の氷の華が見られます。



シモバシラの氷の華



毎日違う姿を見せるシモバシラ



シモバシラの花

## 箱根ビジターセンター

もちろん自然は危険を孕んでいます。しかし、その危うさがあるからこそ輝く自然があることも然りです。そんな自然の「危うさ」と「素晴らしさ」両面を感じられる箱根にお越しください。（執筆：つくし）



冬の芦ノ湖

## 西丹沢ビジターセンター

同様に、白く小さな花も可憐で美しいのです。9月から10月上旬にかけて茎の上部に10cm位の<sup>かすい※</sup>花穂が伸び、片側だけに花を沢山つけます。長い雄しべと雌しべは花の中から突き出し、それらの先端につくピンクの花粉が特徴的です。

西丹沢ビジターセンター周辺や東丹沢、小仏山地などで氷の華「シモバシラ」が見られます。霜柱が立つ真冬の朝、ぜひ「シモバシラの氷の華」をご覧ください。（執筆：澤田）

※花穂：細かな花が集まって穂のようになったもの